

科学研究費補助金（特別推進研究）研究進捗評価結果

課題番号	18002004	研究期間	平成18年度～平成20年度
研究課題名	超高速・超低消費電力バランスドフルCMOSシステムLSIの研究		
研究代表者名 (所属・職)	大見 忠弘（東北大学・未来科学技術共同研究センター・教授）		

【平成20年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

独創的で明確な目的と指針のもとに極めて精力的な研究推進がなされており、ラジカル酸化による理想的表面・界面形成や新電極形成などの新規プロセス技術を中心として、結晶方位制御移動度改善基礎データ取得、デバイスシミュレーションなども含めて多くの成果が着実に得られている。シリコン551面デバイスの優位性実証やバランスドフルCMOSデバイスの作製はやや遅れているが、新たな問題は出現していないようであり、課題全体としては順調な進展であると高く評価できる。また、組織内外での有機的連携も十分に保たれている。本研究課題によるシリコンLSI技術の革新的新展開の可能性に非常に大きな期待が寄せられている。難度の高い課題であるが特別推進研究期間内での最終目標達成を目指して、今後の研究を効率的に進めてほしい。

【平成22年度 研究進捗評価結果に対する検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。